

口唇裂・口蓋裂児の哺乳困難な児に対する哺乳技術の哺乳量改善効果の検証に関する研究

1. 研究の対象

2013年4月～2025年3月31日に当院で治療を受けられた口唇口蓋裂の5か月までの口唇裂・口蓋裂の乳児を対象としています。

2. 研究目的・方法

当院の口唇口蓋裂の子どもへ提供される新たに確立した哺乳技術により、安定した哺乳量が授乳できることを検証します。本研究は、口唇口蓋裂の子どもに対して、新たな哺乳技術が確立する前と後それぞれの時期における哺乳状況(哺乳量、哺乳時間、口内潰瘍)をカルテより情報を収集します。そのデータを比較検討することで、的確な哺乳技術であることを明らかにすることを目的としています。この哺乳技術による安定した哺乳量の確保の実態を明らかにすることで、哺乳技術や口唇裂・口蓋裂看護の発展に繋がり意義があると考えています。研究期間は、倫理審査で承認を得た日から2025年3月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：疾患名、月齢、性別、使用乳首の種類、哺乳量、哺乳時間、等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学歯学部附属病院

住所：吹田市山田丘 1-8 TEL：06-6879-2392

研究責任者：

看護部 熊谷 由加里